

今月のトピックス

冬に多い製品事故にご注意ください！

NITE((独)製品評価技術基盤機構)に通知された製品事項情報のうち、平成19年度から23年度までの5年間に、電気こたつ、電気カーペット、ゆたんぽによる事故がそれぞれ128件、101件、87件発生しています。3製品ともに、使用機会の増える11月頃から事故が増加し始め、1月に最も多く発生しています。

事故原因では誤使用や不注意等の使い方によるものが多いことから、製品を正しく使用し、事故を未然に防止しましょう。

NITE((独)製品評価技術基盤機構) <http://www.nite.go.jp/jiko/press/prs12112201.html>

◆ 事故事例

〈電気こたつ〉

- 電源コードへの過度の荷重、繰り返しの屈曲や引っ張り等により、芯線が断線し、スパークが生じて発火した。
- 可燃物がヒーターユニットと接触し、加熱して発火した。

〈電気カーペット〉

- 経年劣化により、基板内のリレー接点が劣化し、発煙や異常発熱した。

〈ゆたんぽ〉

- 長時間皮膚に接触したため、低温やけどを負った。
- 電子レンジ等による、過剰な加熱によって破裂した。



◆ 使用の際の主な注意点

〈電気こたつ〉

- 電源コードがこたつの足等の下敷きになった状態で使用しない。
- 座いすや座ぶとん、上掛け等が電気こたつのヒーターユニットに近づきすぎないようにする。

〈電気カーペット〉

- 本体を広げ、しわのない状態で使用する。
- 保管する際は、折り跡がつかないようにする。

〈ゆたんぽ〉

- 就寝中に使用すると、体に触れて低温やけどを負うおそれがあるため、ゆたんぽは就寝前にふとんの中に入れ、温まったら取り出す。
- 電子レンジ加熱式ゆたんぽは、規定のレンジ出力や加熱時間を守る。
- 金属製ゆたんぽを温めるときは、必ず口金を外す。

NITEの注意喚起リーフレットについて

NITE((独)製品評価技術基盤機構)では、収集した事故情報の中から、リコール情報をまとめたリーフレットと、季節別に発生した事故事例とその事故防止のポイントをわかりやすくまとめたリーフレットを作成し、公表しています。

無償でダウンロードできますので、製品による事故を防止するためにご活用ください。

【注意喚起リーフレットの掲載ページ】

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/leaflet.html>

【キッチンでの事故に気を付けて(11月26日掲載)】

<http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/kitchen.pdf>

◇ 平成24年10月の重大製品事故公表情報については、消費者庁のホームページをご覧ください。
(<http://www.caa.go.jp/safety/index.html>)

【発行】長野県 企画部 消費生活室

電話 : 026-223-6770

ホームページ : <http://www.nagano-shohi.net/seihin-anzen/>